

メディア文化論V

7. 磁気テープ(VHS・ベータ)

目次

- はじめに
- 磁気テープ(VHS・ベータ)
- VHS対β戦争
- 第二次ビデオ戦争
- 映画のビデオ化
- レンタルビデオ
- ADAT
- まとめ

はじめに

スライド資料について



<https://sammyppr.github.io/>

資料はここに置いていきます。復習にご利用ください。

磁気テープ(VHS・ベータ)

テレビの録画

テレビで映像を視聴することが当たり前となった頃、ビデオテープが登場しました。

それまでは、みたい番組を見るには、その時間にテレビの前にいるしかありませんでした。

ビデオテープの登場により、

好きな時間に映像を見れる

ことが可能となりました。

仕組み

ちょっとナレーションが微妙ですが、仕組みについての映像見てみましょう。

- VCRの仕組みとは？(13:44)

TVの仕組み

現在では、

- FHD: 1920x1080
- 4K: 3840x2160

のデジタル情報にて映像をうつしていますが、アナログ時代には走査線・インターレースという方法が取られていました。

当時はデジタル化しても

- SD: 720x480

というサイズでした

- [Cathode Ray Tube - Animated Explanation\(1:47\)](#)
- [インターレース映像とプログレッシブ映像\(6:50\)](#)

走査線

当時のアナログ放送の走査線は以下の通り

- VHS：240
- S-VHS：400
- テレビ放送：525

画質は綺麗ではないのですが、録画できる、というだけでこれだけ売れたのは今から考えると面白いですね。

サイズの比較をしてみましょう。

16:9：1920x1080/1280x720/720x480

4:3：640x480/320x240/160x120

- [動画の画面解像度の種類・調べ方・決め方。高解像度のメリット・デメリットも紹介](#)

アナログ情報なので...

テープが絡んだり、キレたりすると、オーディオの時に見たように、テープで繋ぎ合わせたりしていました。

- [How To Repair 8mm Video Tape\(8:25\)](#)

VHS対β戦争

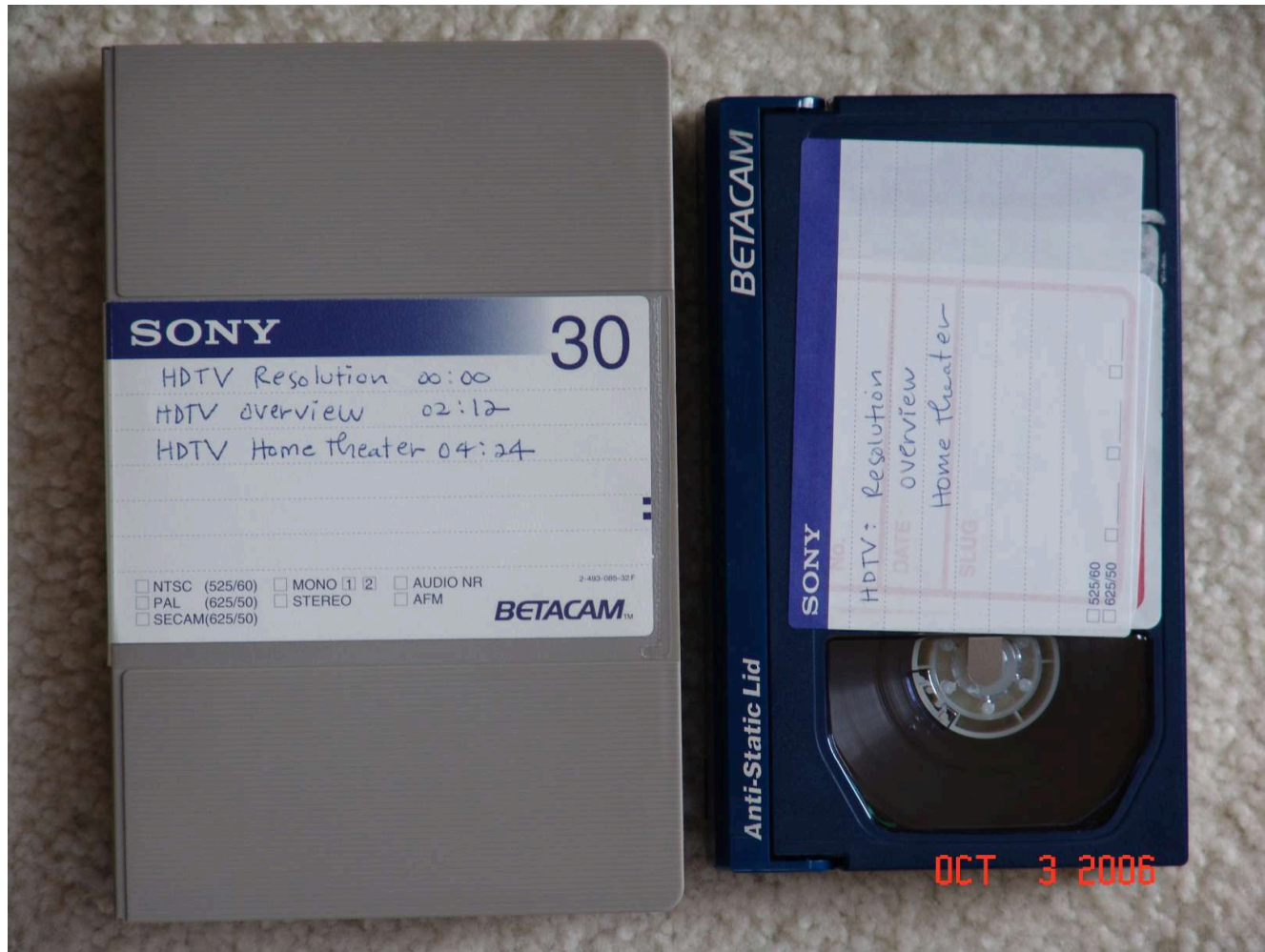
BETACAM

業務用においては、

BETACAM（ベータカム）は、ソニーが開発したアナログコンポーネント記録のキャセット式VTR。かつて放送用・業務用における撮影において、世界中で事実上の標準方式となっていた。

が利用されていました。

BETACAM



VHS・β

家庭用ビデオにおいても、ソニーはベータマックスを開発(1975)しましたが、成功しませんでした。

VHS(1976)に負けてしまいました。

- ソニーのベータマックスがJVCのVHSカセットレコーダーに敗れた経緯(3:48)

VHS・ベータマックス



VHSの戦略

- VHS対β戦争 開発わずか5カ月、松下が放った奇跡の一手

性能が良いからといって売れるわけではない、という珍しい例だと思います。

- 米国市場を取れるかどうかが問題だった
- アメフトの試合(240分)を録画できるかどうか分かれ目

第二次ビデオ戦争

家庭用ビデオカメラ

据え置きではVHS陣営が勝利を収めました、その後家庭用ビデオカメラの戦いが始まります。

- OJ リポート 「8ミリ対VHS-C 第2次VIDEO戦争」 1989年 (平成元年)(5:02)

VHSで覇権をとっていた陣営ですが、ビデオカメラにおいてはソニーに敗北、というこれまた珍しいことが起こります。

- VHS-CはアダプタによりVHSビデオデッキで再生可能
- 標準で40分・3倍モードで120分...3倍モードだとビデオデッキで再生できない
- 一方、8ミリビデオは120分が標準で録画可能だった

映画のビデオ化

映画

かつて映画は映画館で見ることしかできませんでした。

家庭用ビデオの登場により、映画はビデオとして販売されるようにもなりました。

映画の売上に、映画館の上映だけでなく、ビデオとしての販売も加味されるようになっていきます。

OVA

テレビや映画のためではなく、
ビデオで作品を発表するようになっていきます。

OVA(Original Video Animation)

1983年の世界初のOVA作品のオープニングを見てみましょう。

- [Dallos OP\(1:33\)](#)

レンタルビデオ

レンタルビデオ

1980年代に登場したレンタルレコードですが、1982年にCDの登場により、レンタルCD屋に変わっていきます。そして、ビデオの登場により、レンタルビデオ屋に変化していきます。

- レンタルビデオ屋とATM

1990年代をピークとして、その後は衰退しています。理由はもちろん、有料動画配信サービスにあります。

- レンタルビデオ店もはや絶滅間近？ GEOにTSUTAYA...大手の進む道は

GEO・TSUTAYA

- TSUTAYA 琴似店閉店最期の館内放送
- TSUTAYA（ツタヤ）の店舗数推移
- ゲオとTSUTAYAに大差をつけた「本質的な違い」

Vシネマ

Vシネマとは、もともと映画館公開を目的とせず、ビデオソフトとして発売されたり、レンタル店に配給されることを前提とした映像作品を指します。主に東映("Vシネマ"という単語自体は東映ビデオの登録商標)が展開し、ヤクザ物、ギャングル物など、ハードボイルドな作品が多いのが特徴です。

当初は3000万程度の予算がついていましたが、現在では50-300万の低予算で製作されています。

- [ある映画監督のXX日 予告編0705\(1:30\)](#)
- [低予算映画（Vシネ）の裏側に迫る！『ある映画監督のXX日（仮）』製作支援のお願い](#)

映画を撮りたくても撮れなかった監督にとっての修行の場としても、Vシネマは成功を収めました。

Vシネマ裏話

Vシネマに実際に携わってきた小沢仁志さんの裏話

- [なんでAVの隣なんだよ！【あなたの知らないVシネマの世界】 \(12:22\)](#)

ADAT

音楽の世界にも大きな影響

VHSの上位規格であるS-VHSが発売されると、Alesis社がADATを発売(1991)します。それまで、アナログテープで録音してきましたが、S-VHSに音をデジタルで録音・かつ8トラックのマルチトラックレコーダという商品を出してきました。アナログテープでは24トラックが主流でしたが、デジタルのため、3台繋げて24トラックにもでき、それ以上に拡張することもできました。

- [Alesis ADAT 8 tracks digital tape recorder Demo\(～1:00\)](#)

ノイズを気にせず録音ができるため、当初の値段は40万ほどでしたが、値段が下がった頃に自分も買いました！

とは言いつつ...90年代後半にはHDDレコーディングに座を奪われます。

今も残るADAT

1本の光ケーブルで8chの音を送る規格は現在でも残っています。

- RME (アールエムイー) / Fireface UCX II

まとめ

磁気テープ(VHS・ベータ)によって

- 映像の視聴環境が変わった
- 映像の配信方法も変わった
- 映像製作環境も変わった
- 音楽の制作環境も変わった

と、多くの面で非常にインパクトのあったイノベーションだったと思います。

小レポート

manabaより以下の内容で提出してください。

ビデオレンタル文化とその終焉について、あなたの意見をまとめよ。